

「2024年度における外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試特別措置・特別入学枠等」調査票 2023年度実施

外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する有志の会

## &lt;基本情報①(自治体情報)&gt;

都道府県市名 政令都市・中核都市名	名古屋市		
高校入試 担当部署名	教育委員会事務局 指導部 指導室 高等学校担当		
TEL	052-972-3234	FAX	052-972-4177
URL	<a href="https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-10-4-0-0-0-0-0-0.html">https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/11-10-4-0-0-0-0-0-0.html</a>		

## &lt;基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)&gt;

調査担当者名	松本一子 (所属: 名古屋柳城女子大学)
--------	----------------------

## &lt;全国一覧掲載情報&gt;

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)						なし	なし		なし		なし	
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)						①定員内						

## I 全日制高校について

	A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2023年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	把握せず	把握せず	有
2-1.2024年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	×	×	×
2-1の名称			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限			
2-3.措置の内容			
2-4.2023年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			
3-1.2024年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	×	×	○
3-1の名称			海外帰国生徒にかかる入学者選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			・原則として継続して2年以上海外に保護者とともに在住していた者 ・令和4年3月1日以後に海外から帰国した者
3-3.入学枠のある学校数/全学校数			1校/13校
3-4.学校名			名古屋市立名東
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		普通科10%程度まで 専門学科30%程度まで
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			国語、数学及び外国語(英語)
3-8.2023年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択			把握せず
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2023年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入			志願者2名、合格者2名

II 定時制高校について

		D.外国人生徒	E.中国・サハリン帰国生徒	F.海外帰国生徒	
1.2023年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		有	把握せず	把握せず	
2-1.2024年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		○	把握せず	×	
2-1の名称		外国人生徒等にかかる受験上の配慮			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記					
2-2.滞日年数制限		小学校第4学年以上の学年に編入学した者若しくは第3学年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者又は入学後の在日期間が6年以内の者			
2-3.措置の内容		・基礎学力検査(国語・数学・英語の3科目)の問題の漢字にルビを振る。 ・面接は個人面接とする。			
2-4.2023年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず			
3-1.2024年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学籍の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		×		左記の「外国人等」の「等」に含む	×
3-1の名称					
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記					
3-2.滞日年数制限					
3-3.入学籍のある学校数/全学校数					
3-4.学校名					
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)				
	②定員外(枠外)				
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択					
3-7.試験内容					
3-8.2023年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択					
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2023年度の入試別受験者数・合格者数、その他事項などを記入		「外国人生徒等にかかる受験上の配慮」申請 受験者26名、合格者26名			

Ⅲ 高校入学後の状況

1-1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有	
1-2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(特別の教育課程、学校設定科目、個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input type="checkbox"/>	D.担当教員の加配
	<input type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の施策	
上記に該当する実施校の校数等	定時制課程3校で実施	
補足事項		
2-1.「1-2のA」において特別の教育課程での日本語授業を行っている?	有	
2-2.行っている場合、実施校数、実施高校名		
2-3.行っていない場合、今後、教育委員会として実施計画はあるか? ある場合は、その実施予定年度、予定高校数など	有	
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入		
4.2023年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	把握せず	
5.2022年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	無	

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以て認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	学校教育法第1条に定められている学校ではないため。
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以て認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	学校教育法第1条に定められている学校ではないため。
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
3.上記のI II特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2023年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	無	

## V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>名古屋市内の子ども日本語教室運営者によるネットワーク「こどものほんご応援隊@名古屋」の声より</p> <p>&lt;困難なケースや課題について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学齢超過生のダイレクト受験が増えているが、高校受験のシステムや進学先の情報がわかりにくい</li> <li>・小学校高学年や中学校の段階で日本に来た子どもたちは、通知表の内申点が取れないため、自分の本来の実力よりも</li> <li>・レベルの低い学校に進学せざるを得ない場合が多い</li> <li>・「ルビ付き申請」しなくてもあらかじめ選択できるようにする</li> <li>・WEB 出願について多言語でのマニュアル化が必要</li> <li>・高校進学後の退学者の問題</li> </ul> <p>&lt;教育委員会や高校に期待すること&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の公立通信制高校では入学面談の時に、生徒と相談しながら「個別の指導計画」を作成している</li> <li>・こうした取り組みが普及することを期待する</li> <li>・高校入学後の支援については、高校1年時は国語を日本語の時間にするなどの特例カリキュラムがあるとよい</li> </ul>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>「こどものほんご応援隊@名古屋」の声より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学の進路指導で専修学校を進められ、専修学校で資格取得の勉強をしながら専修学校が提携している通信制で高校資格取得を目指すケースが多い</li> <li>・私学への進学については学費助成制度等、お金に関する十分な多言語説明が必要</li> </ul>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できる場所 ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>名古屋国際センター「海外児童生徒教育相談」窓口 <a href="https://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/servicecounter/education-consultation/">https://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/servicecounter/education-consultation/</a></p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>市が例年7月下旬から8月上旬に「外国人の子どもと保護者のための進路ガイダンス」を名古屋国際センターで開催 配付資料は8カ国語 日本語(るび付き)、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、ネパール語 <a href="https://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/publication/schoolguidance/handout.html">https://www.nic-nagoya.or.jp/japanese/publication/schoolguidance/handout.html</a></p>
<p>5.公立高校入試の特別措置や特別入学枠の設置のこれまでの経緯 ※〇〇年に特別措置が導入された(その内容)、〇〇年に特別措置が改善された(内容)、〇〇年に特別入試枠が導入された(内容)、〇〇年に特別入学枠の校数が〇校になった。・・・などのこれまでの経過について、わかる範囲で簡潔にご記入ください。詳しい内容が掲載されているホームページがあれば、記載してください。</p>	<p>2017年度に特別措置が導入された(事前に「外国人生徒等受検配慮申請」すれば、定時制の国語・数学・英語の基礎学力検査は問題文および指示文の漢字にルビを付して行う、面接は個人面接とする)</p>
<p>6.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>★愛知県多文化共生推進室2022年3月発行 「外国につながる子どもたちの進路開拓ガイドブック つなぐ・ひらく・未来2」(子どもや保護者用) <a href="https://www.pref.aichi.jp/uploaded/ife/410751_1821572_misc.pdf">https://www.pref.aichi.jp/uploaded/ife/410751_1821572_misc.pdf</a> 「外国につながる子どもたちの進路応援ガイドブック2～地域の支援者の皆様へ」 <a href="https://www.pref.aichi.jp/uploaded/ife/410751_1821586_misc.pdf">https://www.pref.aichi.jp/uploaded/ife/410751_1821586_misc.pdf</a></p>